

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	21世紀のおやき作り ～粉を活かした元気な村づくり～
事業主体 (連絡先)	上生坂 夢の里山の会 会長 中山秀夫
事業区分	(6) イ産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,699,689円 (うち支援金 2,420,000円)

**事業内容**

- 公共施設の改修を行い、菓子製造業と飲食店営業の営業許可を取り、企業活動を開始した。
- 木材を燃料とする、おやきとピザの製造釜を作り、郷土食「灰焼きおやき」の技術向上のための研修会を7回開催し、延べ101名の参加者があった。
- また合わせて、食べやすい形のおやきや、具の研修を同時に行い試作品2品を開発した。
- また、生坂村初となるパンの販売に向け、延べ46名の参加で研修会や試作品作りを8回行い、6種類のパンを開発した。
- 事業主体の「上生坂夢の里山の会」を母体とし、おやきやピザ、パンなどを製造販売する新部門グループ「夢の里山 生坂こなもん工房」を立ち上げた。
- 会と商品の知名度を上げて順調な企業活動のために、チラシの作成など販売を視野にしたPR活動を開始した。



【形を変えたおやきの研修】

**事業効果**

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 施設を改修することで、加工品の営業許可が取得、企業活動を始めるための準備が整った。
- ② 研修会や講習会の結果、おやきやパン・ピザの技術向上が図られ、企業活動に向けて準備が整ってきた。また、従来のイメージと違った「灰焼きおやき」の開発は、研修会を通して具体的な意見の集約が進み、次年度へ期待が高まった。
- ③ 「上生坂夢の里山の会」を母体とし、若い世代を加えた新グループ「夢の里山 こなもん工房」を立ち上げ、パン・ピザなど若い世代の参加しやすい商品の開発が出来き、将来的に就労場所につながる可能性が出てきた。
- ④ 新商品と新グループの活動と商品のPRのため、販売を視野に入れたチラシの作成を行、村内者への周知が図られた。

【目標・ねらい】

- ① 施設の改修と加工品の営業許可の取得
- ② おやきの加工技術を向上し、特産品としての更なる普及を図りながら、灰焼きおやきの従来のイメージから、食べやすさなどを考慮したおやきの開発を行い、広い年代層の消費者への普及を図る。
- ③ 新たに実践するグループを立ち上げ、若い世代の参加しやすい環境づくりを行い、パンやピザの商品開発を行う。
- ④ 会と商品の知名度を上げて、順調な企業活動のためにPR活動を行う。

**今後の取り組み**

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ① 新グループ「夢の里山 こなもん工房」の健全な企業活動に向けて、更なる高品質のための技術研修と、新商品の開発を行う。
- ② 施設を充実し、作業の効率化と安全性を図る。
- ③ 本格的な販売に向けてチラシ等PR活動を行って行く。
- ④ 会のスムーズな運営のため、会員間の交流を図る。

※自己評価 【 A 】

**【理由】**  
 この会を将来的に、村内の就労場所として位置づけ、健全な運営を行うためには、更なる技術向上と新商品の開発が必要である。そのためには、研修会と販売を視野にした会と商品の周知である。また、作業効率と燃料が木材の部分があり安全性確保のため、施設の充実が必要である。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある